

社会福祉法人緑野会  
みどりの保育園 「みどりの編集委員会」  
〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-57-2  
TEL.042-375-0117 FAX.042-375-7722  
mail tama-midorino@nifty.com  
URL <http://midorinohoikuen.kids.coocan.jp/>  
2024年3月発行

1年生のみんな元気？

みんなとすごした1年間がとっても楽しくって思い出しながらすごしています。

小学校でも楽しんでますか？

うまくいかない時もあるかな？

そんな時は保育園にきてたくさんお話ししよう。

いつでもまってるからね。

次に会えるのを楽しみにしてるよ♡



みどりの保育園 令和4年度きみどりぐみ担任 浜田さやか

1ねんせいのみなさん、げんきですか？

みんながそつえんして1ねんがたちますね。

おべんきょうはどうですか？

おともだちとなかよくあそんでいますか？

なにごとにもいっしょうけんめいなみんなだから、

きっとたのしんでがっこうせいかつをおくっていることでしょう。

たまにはほいくえんにげんきなすがたをみせにきてくださいね。



みどりの保育園 令和4年度きみどりぐみ担任 桑本英子

# みどりの保育園

そつえんせい  
卒園生のみなさんへ



そつえんせい  
卒園生のみなさんへ

そつえんせい  
卒園生のみなさんお元気ですか？

今年は、みどりの保育園が誕生してから50年目になります。そして、緑野会に新たな拠点が生み出されました。「蓮光寺小放課後こども教室」が10月から開設しています。学童と放課後子ども教室と蓮光寺小の放課後を支えています。地域の中で0歳から小学校を卒業するまで、子育てを支える法人としてこれからもよろしくお願ひします。

今年も25名の卒園生を無事に送り出すことができました。なんと50回目の卒園式です。子どもたち一人ひとりが逞しく人生を歩んでほしいなと思ひます。今年卒園した子どもたちも、少し前に卒園した子どもたちも、だいぶ前に卒園した方たちもみんな「みどりのの宝物」です。2024年は50周年の節目の年になります。これまでの50年、支えてくださりありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。

令和6年3月 みどりの保育園 園長 山口 明白子

そつえんせい  
卒園生のみなさんへ



そつえんせい  
卒園生のみなさんへ

みなさん。こんにちは。お元気ですか？

今年度は4年ぶりに卒園生イベント『6年生の集い』を開催しました。当日は15名の6年生と一緒に豚汁、おにぎりを作り、思い出や最近の出来事などを話しながら食事を楽しみました。食べ終わった後は『きみどりぐみの部屋』へ向かう6年生。「なつかしい！」「これよく使ってた！」「これ〇〇と一緒にやってたなあ〜」など当時を思い出しながら遊んでいる姿が見られました。驚いたのはスマートフォンをみんな持っていて「LINEグループ作ったからみんな入って！」とその場で写真の共有をしていたことです。このイベントをきっかけに学校や地域が離れている『みどりの保育園メンバー』が今後も繋がっていきける事にうれしさを感じました。来年度も中学生職場体験や卒園生イベントなどで卒園生のみなさんと再会できることを楽しみにしています。

PS：『インスタグラム』フォロワー500人突破しました！フォローありがとうございます。保育園の様子をアップしていますのでぜひご覧になってください！

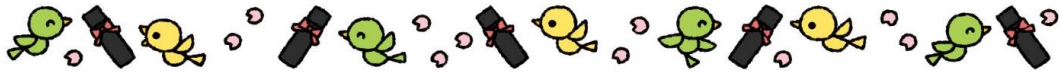
みどりの保育園 主任保育士 山岡丈寛

# 卒園生

みどりの保育園を卒園し十数年。園舎も変わり、園庭の遊具も以前とは変わったものの、あたたかみのある雰囲気や、園庭で子どもたちが好きなようにあそび、行事を楽しむ姿も変わらないです。「私もあんな風にあそんだな」

「あの行事楽しかったなあ」となつかしい気持ちです。今は保育士としてこのみどりの保育園で働けることがすごくうれしいです。

平成18年度 第33回卒園生 村上 ちひろ



# 6年生へ

卒業者へ

ご卒業おめでとうございます。小学校の6年間は長かったですか？早かったですか？きっと、みなさん、一人ひとりに沢山の思い出があることでしょうね。

私は、みなさんが、保育園を卒園してからの6年間はとても早かったですよ。昨年11月卒園生の集いで6年生に会えた時に「もう6年生？」「えっ、こんなに大人っぽくなったの？」「すっかりお兄さんお姉さんだわ」と、それはそれは月日のたつのが早いことを感じました。

それでも友だちとじゃれ合ったり、くたたくなくおしゃべりし、笑い合う姿やブロックやゲームなどで夢中で遊んでいる様子を見ると、保育園時代みんなのことを思い出して、かわいいところ、元気なところ、かわらないなあとなつかしくなりました。

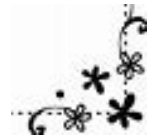
今年2月、連小の生活総合発表会に少しだけ見に行った時は、数名ですが覚えていて、声かけてくれた子やクラスを案内してくれた子など、つくづくみなさんの担任であったことを嬉しく思いました。

次は中学生。学校、勉強、スポーツ、趣味などなど、やること、学ぶこと、たくさんあって楽しみですね。これからも元気に頑張ってください。

またいつか会えることを楽しみにしています。

6年生の卒園時担任 孕石 邦子





# 連光寺学童クラブ便り

## 連光寺小学童クラブ・連光寺小放課後子ども教室

連光寺小学童クラブは、多摩市から運営受託を受けて9年目となりました。当初受託した時は、みどりの保育園の隣にある連光寺児童館と併設で一緒に運営を行っていました。

受託5年目に定員が69名から90名となり、連光寺小学校の校庭の西側に場所を移動し現在に至っています。

そして今年度10月から「連光寺小放課後子ども教室」を緑野会で受託しました。これまでは、小学校のPTAが中心となつて月に2回程講師を招いて囲碁や書道、生け花などを行っていましたが、現在は週に5日間夕方5時まで主に特活室、図書室、校庭で子どもたちが過ごしています。1年生から6年生まで利用ができ、2月末現在での登録数は全校生徒の7割以上、260名で、1日の利用人数は40名程です。室内では宿題をやったり、ゆっくりと本を読んだり、カードゲームやダーツをしたり、黒板やホワイトボードでお絵かきをしたりしています。外では野球やサッカー、鬼ごっこなどをしていて、学童クラブの児童と混ざり合っ一緒に遊んでいます。一度家に帰ってから利用することもできるので、野球のグローブやサッカーボールを持ってくる児童もいます。

その他特別プログラムとしてボッチャ教室や科学実験教室（水車作り）、学童クラブとの共催行事（ハロウィンかくれんぼ、スポーツデー等）も行っています。また囲碁教室もそのまま月に2回継続しています。

小学校と法人の垣根を越えて、今ここにいる児童のことを一緒に考えていき実践していく土壌が連光寺にはあり、地域の方とも協力しながら放課後の子どもたちの居場所として根付いていってほしいと思っています。

学童クラブに話は戻りますが、これだけICT化が進んだ現代でも学童クラブには古き良きアナログな遊びが多く残っています。空き箱や様々な素材を使っての工作、マンカラや4目並べ、けん玉、かるた、外では大縄跳びや鬼ごっこ、トカゲやサワガニなどの生き物探しなどです。また、主に1～3年生90名が過ごす中で各々の役割やグループ活動があったり、自分の持ち物を自分で管理したり、自分自身も周りの反だちも気持ちよく過ごすための最低限のルールもあります。

子どもたちは日々成長しているので、今を大切に有意義に過ごせるように学童クラブでしかできない経験を考えつつ、私たち職員も過ごしていきたいと思ひます。

卒園生や保護者の皆様も近くを通りかかった時には是非お立ち寄りください。

連光寺小学童クラブ 菊池 康成



# 聖ヶ丘学童クラブのこの一年

2023年度を振り返って

今年度もあっという間の一年でしたね。一年が過ぎるのは本当に早いものです。

緑野会が聖ヶ丘学童クラブの委託を受けてから丸6年が過ぎようとしています。3年続いたコロナがひと段落しましたが、まだまだ影響が残っており、感染拡大防止に工夫しながらの育成を続けています。とはいえ、少しずつイベント等を増やして通常に近いやり方ができるようになってきています。

紙ひこうき大会ではなんと1年生が優勝。準優勝の2年生は表彰式で泣き出し、悔し涙かと思ったらうれし涙でした。それぐらい思いを入れ込んでやってくれたのは、こちらもうれしかったです。

ドッジボール大会では3年生の本気が見られました。ただ投げる、捕るのがうまいだけでなく、下の学年の友だちを励ましたり慰めたりしながら上手にチームをまとめて、みんなで勝利を目指していました。初めはやる気の無さそうな子も負けたら泣いてしまうなど、熱い思いが伝わってきました。

お店屋さんごっこも3年生が中心になって、やりたいことを出し合いながら準備をしました。お客さんに楽しんでもらおうを合言葉に、各店舗が工夫を凝らして楽しませてくれたのでお客さんも満足そうでした。

クリスマスお楽しみ会はひじり館のホールで行いました。ダンス、ピアノ、クイズ、合唱、ハンドベル、コントなどなど、有志の子どもたちが自分の得意なものを舞台の上で披露してくれました。帰りの会でサンタさんが登場すると大盛り上がり。プレゼントをもらって大喜びでした。

どのイベントも、子どもたちが楽しんでくれたこと、自分だけでなくみんなで楽しもうと考えてくれたことが、私たち職員の喜びとなっています。

来年は、どんな遊び、どんなおしゃべり、どんなイベントができるのか、今からワクワクしています。これからも、子どもにも大人にも居心地の良い学童クラブでいられるように努力していきたいと思えます。

ひじりがおかがくどう  
聖ヶ丘学童クラブ 小林 勉

# みどりの保育園 50周年を振り返って

卒園生の皆さんお元気ですか。職場や学校等それぞれの場所でご活躍のこととお思います。

みどりの保育園は、今年の3月末日で開園50年となりました。最初の卒園生は、今年56歳くらいになるのではないかと思います。現在、みどりの保育園に勤務している最古参の職員は荻野(旧姓:内田)宏美さんで私の3年先輩です。

私がみどりの保育園に入職したのは、昭和55年(1980年)4月で、開園7年目を迎えた年でした。丁度、聖ヶ丘地域の開発が始まった頃で、中央病院の先はまだ道路もなく永山方面へは乞田川沿いの道を行く以外ない状況でした。今は整備されている大谷戸公園や都立桜ヶ丘公園のあたりは、草原と森と水路があっただけでそれ以上先へは進めなかったよう記憶しています。保育園から記念館方面へ行く時は、今は閉ざされている林野庁の横の道を通り続く山道を登って行きました。林野庁の宿舎の横には鳥獣実験場という施設があり、このあたりにいた鳥や動物の剥製等が陳列されていました。ここへも保育園の子ども達を連れてよく見学に行きました。又、途中にあった農業者大学のグラウンドも子ども達のよい遊び場でした。この頃は公的な施設も地域住民に開放的で、子ども達を快く迎え入れてくれていたと思います。記念館の林は夏が近づくとマムシに襲われる危険性があったので、その時期に入山したことはありませんでした。記念館の林での一番の思い出は、雪が積もり寒い中、手作りのソリを数台(10台ほどはあったかもしれない)持ち、林の中でソリ滑りをして遊んだことです。場所は菅蒲池の崖の上の山道だったかと思います。公園等はありませんでしたが、今以上に自然の中でのびのびと過ごしていたように思います。

その頃の保育園の園舎は、鉄筋コンクリート造りの1階建てで細長い形をしていました。今の事務室側からちびっ子ハウス側に向かって0、1歳児クラスのもも組、事務室と給食室、2歳児クラスのあか組と3歳児クラスのきいろ組、4歳児クラスのみどり組と5歳児クラスのみどり組、ホール、図書室、図書室の後ろ(児童館側)に陶芸室がありました。保育室は、0・1歳、2・3歳、4・5歳の3部屋で部屋の真ん中に設置されたアコーディオンカーテンで2クラスに仕切られていました。アコーディオンカーテンでは隣のクラスの物音や声が筒抜けだったので隣のクラスに気を遣いながらの保育でした。大人も大変でしたが、子ども達は自由に話せなかったりすることがしばしばあったためもっと大変だったことと思います。園庭は細長く0.1歳児クラスからホール側に向かってリングブランコ、鉄棒、ブランコ(座るところがタイヤだったかな?)、ジャングルジム、砂場、滑り台、太鼓橋、登り棒がありました。高いところが好きだった私は、登り棒の一番上に乗かって子ども達を引っ張り上げたり桜の木と一緒に登ったりして遊んだことを思い出します。この後、保育室の様子は、平成10年(1998年)の大規模修繕と増築によって大きく変わりました。各クラスが独立した部屋になり、0歳児の定員が6名から9名になるなど各クラスの定員の変更もありました。この前後で園庭も大きな変化があり、砂場が拡張されたり、アスレチック遊具やちびっ子ハウスが設置されたり、登り棒・太鼓橋・鉄棒・ブランコやリングブランコが撤去されたりしました。

今回はみどりの保育園が50周年を迎えたとのことなので、開園後10年くらいまでの保育園周辺や園舎の様子を中心に簡単に綴って見ました。今後機会があればその後のことや動物飼育のこと、給食のこと、木工を楽しむ会のこと等についても記してみたいと思います。

# NEWS

土田 和歌子さん 応援しています。

ホノルルマラソン 2023 での優勝や東京レガシーハフマラソン 2023 など  
沢山の活躍をされているようです。



## 編集後記

今年度は、新型コロナウイルスが「5 類」へと移行になり、マスクなしで外出する人も多く見られるようになりました。また、海外への渡航者も増え、街には外国人観光客の姿が溢れたり、これまでの日常が戻りつつあるように感じられた一年でした。みどりの保育園では、運動会やクリスマス会をはじめ、様々な行事・イベントを制限のない形で行うことができました。また、4 年ぶりに卒園生のイベントを開催することができ、成長した卒園生と直接話をしたり、一緒に遊んだりすることができました。子どもたちの楽しそうな表情をたくさん見ることができ、職員一同嬉しく思っています。保護者の皆様のご理解・ご協力があったからこそだと思っています。深く感謝申し上げます。

会報誌『みどりの』へのご意見、ご感想、また「こんなの載せてほしい」などがありましたら、是非保育園までメールをお願い致します。では、また次号でお会いしましょう！

みどりの 28 号編集委員 谷内 菊池 山本